

## 第 25 回シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会 (ホール審査) 総評 小学 3・4 年生部門

### ●審査員 A

全体的に聴き応えのある演奏が多かったと思います。

とても陰影に富んだ演奏ながら、少し人工的な作りのものも散見されたのは気になります。それだけ申し上げておきます。

### ●審査員 B

皆さん 3・4 年生にとって難しい曲をしっかりと理解して練習なさっていらっしゃったと思います。

ワルツ、マズルカ、ポロネーズ等、殆どの曲が舞曲でしたが、各々のリズムに乗ってメロディーをうたうというのが難しいのかなと感じました。メロディーを美しくうたおうとするとリズムが整わなかったり、あるいは繋ぎの音型、パッセージ等との不適合が有るように思いました。

音型が変わるところ、又、転調するところ、その他変化するところの前後の関係性をよく考えてみるようにしてみてください。

### ●審査員 C

皆さん良く勉強していて感心致しました。

安定したテクニックでセンスの良いアゴーギクが感じられる演奏は、とても心に響きます。

### ●審査員 D

皆さん、今後勉強されていくうえで、是非以下のことを心がけてみてください。

- 1) ペダルについて：更に正確に踏めるとよいですね。少しペダルを使い過ぎている演奏が多く見受けられました。アーティキュレーションの明瞭さを心がけ、ペダルを使用する箇所を上手に選んでいきましょう。
- 2) 楽譜を正しく読みましょう：アクセント、スタッカート、そして強弱などの記号をどのように演奏するかは、音の流れの中にある意味内容のつながり具合によって変わります。例えば、同じアクセント記号でも、f の個所と p の個所では、異なった弾き方になります。ひとつひとつのアーティキュレーション記号は、まったく異なる意味を持つことがあるのです。
- 3) 表現力豊かで、示唆に富み、自然なフレージングを心がけましょう。

### ●審査員 E

アジア大会進出、おめでとうございます。ここまでこられるために、皆さんともしっかりと準備されていて、とてもレベルの高い大会だったと思います。

そして余裕のある演奏をされている方が多く、皆さんホールの響きをよく聴いて弾かれています。その反面1つ1つのフレーズが停滞してしまう事もあったように思われます。より自然に大きなフレーズでまとめていけると良いと思える部分もありました。これからの成長を増々楽しみにしていきたいと思います。

#### ●審査員 F

今回のコンクールで聴く機会があった若いピアニストたちへの私からのコメントや提案は、正直なところ以前私がこのコンクールで述べたコメントの内容と重なることが沢山あります。

真の芸術家は（敢えてピアニストではなく芸術家と呼びます）、ピアノを弾くのではなく芸術的想像力を駆使し指でストーリーを語ります。音は言葉であり、フレーズは文章であり、曲は全体の物語です。このように音楽を理解し伝えてこそ、聴く人の魂に届き、音楽のあらゆる感情や表現を伝えることが出来るのです。

以前のコンクールでのコメントの内容とも重なりますが、ペダルではなく指を駆使した「レガート・カンタービレ」、和声構造の認識、アーティキュレーション、正確なペダル、ショパンが重視した演奏の自然さ、聴衆の喝采を浴びることだけを目的とする人工的な「演出」のない演奏、メトロノームの過度なプレッシャーに左右されない音楽の時間感覚と柔軟な語り（メトロノームの正確さは、ときに芸術的想像力を乱すことがあります）はショパンを弾く上で常に覚えておきたいことです。

これらについては、指導者の皆様を通して若いピアニストの皆さんに伝わることを願っています。年少の部門の審査に於いては、演奏している子どもだけでなく、指導されている先生方の影響の大きさをその演奏から感じます。指導者の先生を審査させて頂くとも言えるかもしれません。ピアニストや音楽家という職業は決して楽なものではないのです。

才能があるとアピールするためのジェスチャーなのかと思いますが、子どもらしさからはかけ離れ、先生から教え込まれたと思われる少し芝居がかったジェスチャーが散見されたところも気になりました。個人的な意見にはなりますが、このようなあまり芸術的ではないジェスチャーをせずとも、真の才能は保つことが出来ます。これまで長年審査をしてきましたが、しばしばこの現象は見受けられるので指導者の皆様ともぜひ共有したいと考えました。若い演奏家の個性を捻じ曲げてしまうものであり、個性を伸ばすためには決してよい方法とは言えないからです。

そしてピアニストの皆さんに直接お伝えしたいのですが、コンクールに参加する目的は賞

ではありません。コンクールは、意識的にレパートリーを増やすことに役立ち、具体的で期限付きの課題を与えてくれ、向上心や集中力へもよい影響をもたらします。コンクールは若い音楽家の成長にとって重要で前向きな要素となるのです。

最後に、少し長くなりすぎたかもしれませんが、コンクールに参加された皆さん、そしてその先生方、親御さん、お子さんや生徒さんが芸術的な達成から多くの喜びを得られることを心から祈っています。ピアノを弾く若者の才能の自然な成長を穏やかに見守ることに喜びを感じましょう。